

単  
元  
名

# 昔のまちへタイムスリップ！

教科書出版社名（ 日本文教出版・大東市教育委員会 ）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（ 社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・昔の道具や、町の様子調べを通して、現代への移り変わりを考え、将来の町の姿を考えようとする力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・本に書いてある情報をさらに詳しく調べ、どの情報が自分たちにとって本当に必要なのかを取捨選択する力。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・昔の道具や乗り物など、子どもたちが見たことがないものを本で見ることによって、現代のものがいかに便利に進化しているのかを実感させる。

- ・本に書いてあるたくさんの情報を取捨選択し、マップを見た人にとって分かりやすいカードを作る。

○ 学習の展開（全10時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	<ul style="list-style-type: none"><li>・昔の道具の写真を見て、何に使われていたのかを予想する。</li><li>・昔の町の様子や、交通の様子を写真で見て、その時代の人々がどのような暮らしをしていたのかを考えて交流する。</li></ul>
第2次（☆）	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループに分かれ、図書館の本を使って調べる。 （家での暮らし、学校、乗り物、町、仕事、遊び）</li><li>・調べたことを、さらに詳しく調べるために国語辞典を用いる。</li></ul>
第3次（☆）	<ul style="list-style-type: none"><li>・調べたことをカードにまとめる。</li><li>・本当にわかりやすいカードになっているのかを話し合い、考える。</li><li>・模造紙に描かれているマップにカードを貼り、「昔の暮らしマップ」を完成させる。</li></ul>
第4次	<ul style="list-style-type: none"><li>・昔の町や暮らしの様子をもとに、未来の町や暮らしの様子を想像する。</li><li>・今回調べたものが、どのように進化していくのかを考える。</li><li>・「未来の暮らしマップ」を作り、「昔の暮らしマップ」と見比べ、どのように感じたかを表す。</li></ul>

(本時5 / 10時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
・自分たちが調べたものの中から、本当に必要な情報を取捨選択し、文章を書くことができる。
・班やクラス全体で、推敲を重ねることで、よりよい文章にすることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1.課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%;">マップにはるカードを作るために、調べたことをまとめる</div>	
15	2.班で推敲する。 ・調べたことを班で交流し、どんな文章をカードに書くと、マップを見る人にとってわかりやすいカードになるのかを考える。 ・推敲した説明文をカードに書いていく。	・本に書いてあるたくさんの情報を取捨選択し、マップを見た人にとってわかりやすいカードを作る。
15	3.それぞれの班が作ったカードを、全体で確認する。 ・わかりやすいカードが作られているのかを確認するために、他の班の人にチェックしてもらう。 ・カードをチェックする時は、わかりやすいカードになっているのかをチェックし、分からない言葉や文章がある場合は、質問内容を付箋に書き、班の机に貼る。	・ふせんの書き方の例を提示する。 ・チェックする班の順番を決めておく。 ・1人あたり3班回り、チェックするよう説明する。
5	4.貼ってもらった付箋を確認する。 ・自分たちのカードは、直さなければいけないところがあるのか、そのまま貼れるのかを確認する。	
5	5.ふりかえりをする。 ・頑張ったこと、次に頑張ろうと考えていることを中心に書く。	

図書館活用  
ポイント